

リポーティングガイドライン

1. マネジメントイデア(経営理念)～経営者の「社会の公器」イニシアティブ～

- ・会社が社会の公器であることを自覚し、私しないこと
- ・会社をとりまくステークホルダーに配慮し、負荷をかけないこと
- ・差別、権利の侵害、虚偽と隠匿、法令の違反を、犯さないこと
- ・ステークホルダーの安全衛生をすすめ、心身と物資を損傷しないこと
- ・会社の存在理由を自覚し、人材を育てて事業し、人と社会に資していくこと

2. フリーアクト(無償の行為)

- ・地球規模の生態系、生物多様性の保全に寄与していくこと
- ・世界規模の貧困と飢餓の撲滅に寄与していくこと
- ・世界の自然災害、人為災害の復興に寄与していくこと
- ・NPOと協働し、地域の社会と環境に寄与していくこと

3. 経済的側面へ配慮していくこと

事業とのかかわり(原則、推移は過去5年、数値は構成比を併記すること)

- ・連結会社概要
- ・リポーティング概要(範囲・期間・参照ガイドライン、履歴、次回予定)
- ・連結貸借対照表、連結損益計算書、連結キャッシュフロー計算書
- ・連結セグメント情報(製品・サービス別・世界地域別の売上・利益)
- ・ゴーイング・コンサーン情報(ネガティブ情報)
- ・株主数(機関・個人、国内外別)
- ・主要財務指標推移の所在 URL (売上・利益・ROA・ROE・研究開発費・設備投資費等)
- ・四半期報告書の所在 URL
- ・ステークホルダー別の分配計算書
- ・世界地域別の納税額推移
- ・配当額推移
- ・利息額推移
- ・世界地域別の報酬額(経営者・従業員)推移
- ・世界地域別の支払額支出(サプライヤー費用)推移
- ・世界地域別の広告費用推移

- ・世界地域別の寄付額推移
- ・内部留保額の推移
- ・経済・社会・環境(ステークホルダー)別取組(費用)計算書

会計とのかかわり(原則、準拠すること)

- ・国際会計基準、アメリカ会計基準
- ・第一者(コンプライアンスマネジメントシステム)内部監査報告要約と所在 URL
- ・第三者(監査役)会計監査報告書の所在 URL
- ・第三者(公認会計士)会計監査報告の所在 URL

体制とのかかわり(原則、公開し共有すること)

- ・レーズンデートル(社会的存在理由)とブループリント(将来計画)
- ・コード・オブ・コンダクト(行為規範)
- ・コーポレート・ガバナンス
- ・コンプライアンスマネジメントシステム(経営者・管理者・担当者対象)
- ・ステークホルダー別のインシデント／アクシデントレポート要約と所在 URL

情報とのかかわり(原則、公開し共有すること)

- ・情報セキュリティマネジメントシステム
- ・個人情報保護マネジメントシステム
- ・ポジティブ情報、ネガティブ情報

3.社会的側面への配慮

株主・投資家とのかかわり(原則、公開し共有すること)

- ・株主とのダイアログ報告書要約と所在 URL、
- ・アニュアル・レポート(年次報告書)の所在 URL
- ・株価操作の禁止、インサイダー取引の禁止、重要情報遅滞の禁止
- ・事業継続マネジメントシステム(危機管理・リカバリー管理)
- ・SRIファンド採択

従業員とのかかわり(原則、準拠し公開し共有すること)

- ・「公人」優先にもとづく管理者・担当者評価システム
- ・差別の禁止
- ・ハラスメント(パワー・セクシャル・モラル)の禁止
- ・才能教育訓練システム、自己啓発システム

- ・ヘルスケア・メンタルケアシステム
- ・生産安全衛生マネジメントシステム
- ・事業所アクセシビリティ(バリアフリー)
- ・障害者雇用数、雇用率
- ・育児・介護施策、利用数、利用率
- ・内部通告制(褒章なく不利益ない保証)利用数

顧客・ユーザーとのかかわり(原則、準拠し公開し共有すること)

- ・製造物責任マネジメントシステム(ユーザー安全衛生マネジメントシステム)
- ・世界地域別心身・物資の損傷件数、重篤度の推移
- ・リコール制(リコール発動基準)、利用数
- ・アクシデントリポート／インシデントリポート
- ・フール・プルーフ設計、フェイル・セーフ設計
- ・アクセシブル設計(ユニバーサル設計、バリアフリー設計)
- ・顧客・ユーザーとのダイアログ報告書要約と所在 URL
- ・品質(顧客満足)マネジメントシステム
- ・市場原理主義偏重の禁止、競争至上主義偏重の禁止
- ・独占、談合、カルテル、トラスト、その他不正な販売行為の禁止
- ・説明書、マニュアルの安全衛生、正当表示、警告表示、デメリット表示
- ・広告意識操作の禁止、浪費・怠惰助長の禁止

業界・競争会社とのかかわり(原則、準拠し公開し共有すること)

- ・業界不当利用の禁止、不適切な政治活動の禁止
- ・災害による事業中断業界企業バックアップ態勢
- ・独占、談合、カルテル、トラストの禁止、汚職、賄賂行為の禁止
- ・競争会社の不正な情報入手の禁止、相対的な力の差不当利用の禁止

サプライヤーとのかかわり(原則、準拠し公開し共有すること)

- ・取引機会の公開、公平な選定、公平な取引、相対的な力の差不当利用の禁止
- ・(パートナーとして)ブループリント(将来計画)の共有
- ・単一企業依存の回避
- ・共同研究開発、共同教育訓練、CSRへの取り組み支援

NPO・NGOとのかかわり(原則、公開し共有すること)

- ・NPO・NGOとのダイアログ報告書要約と所在 URL
- ・(協働パートナーとしての)NPO・NGOの一覧・概要

メディアとのかかわり(原則、構築し公開し共有すること)

- ・ステークホルダー別コンタクト・ポイントの一覧
- ・事業継続マネジメント上のコンタクト・ポイント別リカバリー

地域社会とのかかわり(原則、セグメント情報を公開し共有すること)

- ・地域社会の、治安、交通安全、消防、都市計画、景観への配慮
- ・地域の交通、物流への影響、治安上の死角、事故、騒音等の低減
- ・地域社会の機能不全への対応活動
- ・コンピタンスによる地域教育訓練(社会人・学生生徒児童)の展開
- ・反社会的勢力・団体との関係回避
- ・事業所のリデュース・リユース・リサイクル
- ・事業所のゼロエミッション
- ・事業所の有害化学物質使用
- ・事業所の大気汚染
- ・事業所の水質汚濁
- ・地域の再生可能エネルギー・原料資源化、緑化、水辺化、景観、文化施設整備等の支援

国際社会とのかかわり(原則、準拠し公開し共有すること)

- ・国別の治安、交通安全、消防、都市計画、景観への配慮、施策への支援
- ・多様性の保全、宗教、文化習慣、人の所作のルールへの順守
- ・ISO、ILOなど人権・労働等グローバル・スタンダードの支持、支援

4.環境的側面に配慮する

地球環境とのかかわり(原則、種類別記載、数値は構成比を併記すること)

- ・エネルギー総使用量、うち省エネルギー量
- ・再生可能エネルギー使用量
- ・上下流の生産・物流の省エネルギー量と再生可能エネルギー使用量
- ・製品設計上の省エネルギー使用量と再生可能エネルギー使用量
- ・原料資源総使用量、うち省資源量
- ・再生可能原料資源使用量
- ・上下流の生産・物流の省原料資源量と再生可能原料資源使用量
- ・製品設計上(生産)の省原料資源使用量と再生可能原料資源使用量
- ・水総使用量、うち省水量、うちリユース・リサイクル水量
- ・温室効果ガス排出量

- ・オゾン層破壊物質の排出量
- ・有害化学物質総使用量、うち代替物質使用量
- ・地球温暖化防止と資源枯渇防止への固有活動、協力活動